

福祉科 「コミュニケーション技術」	単 位 数	2 単位
	学科・学年	教養福祉科（3 年）

（１）学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	対人援助におけるコミュニケーションに関する知識と技術を学び、介護を必要とする人の自立生活を支援する介護福祉援助活動に活用する能力と態度を身につける。
使用教科書 副教材	コミュニケーション技術（実教出版） 最新・介護福祉士養成講座 5「コミュニケーション技術」 (中央法規)

（２）評価の観点および評価方法

評価の観点	関心・意欲・態度 コミュニケーションの意義と役割について関心を持ち、意欲的に学習している。 思考・判断・表現 対人援助におけるコミュニケーションの諸問題について考えるとともに、介護を必要とする人の自立生活支援の現状について考える。また留意点をまとめ、グループワーク・発表ができる。 技能 コミュニケーションの重要性を理解し、留意点をまとめ、グループワーク・発表を行っている。 知識・理解 コミュニケーションの意義と役割を理解するとともに、基礎的・基本的な知識を理解している。
評価方法	学習活動状況（出席・意欲・態度等）、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価する。

（３）授業の受け方および学習方法

授業の受け方 および学習方法	必要事項や教員の説明をプリントに書き込む。 レポート、プリント等はしっかり取り組み、提出期限を守る。 グループワークに意欲的に参加する。
-------------------	---

（４）学習計画

「1 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
介護におけるコミュニケーション ・ コミュニケーションの意義と役割 ・ コミュニケーションの基本技術 ・ 援助の技法とコミュニケーション	・ 介護従事者として人間関係形成に必要なコミュニケーションの意味と役割について理解する。 ・ 他者理解・自己理解を踏まえ、自己覚知・自己開示の必要性とあり方を理解する。 ・ コミュニケーションをとる意味を考え、コミュニケーションをとるための基本的態度を理解する。 ・ 演習を通して、コミュニケーションに関する基本的な技法を身につけさせる。 ・ 言語・非言語コミュニケーションの意義や役割を理解する。 ・ 傾聴、受容、共感、効果的な質問等、演習を通して理解する。 ・ 個別的な援助、集団への援助について理解する。

「2 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
サービス利用者や家族とのコミュニケーション ・ サービス利用者や家族との関係づくり ・ サービス利用者に応じたコミュニケーション	・ サービス利用者の状態や状況、利用者を取り巻く家族の状況に応じたコミュニケーションを理解する。 ・ サービス利用者と家族を含むコミュニケーションのあり方を、事例を通して考える。 ・ サービス利用者や家族の意向を調整する技法、相談・助言指導する技法を、事例を通して理解する。 ・ 加齢による心身の変化を理解し、高齢者に合わせたコミュニケーションの必要性を理解する。 ・ 先天性障害や中途障害、障害のもたらす二次障害を理解し、それらがコミュニケーションに及ぼす影響を考える。

「3 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
介護におけるチームのコミュニケーション ・ 記録 ・ チームによる連携 ・ スーパービジョンの技法	・ 多様な介護場面におけるチームとしての連携と情報の共有化について基礎的な知識と技術を身につける。 ・ 客観的な記録により利用者理解につながることを理解する。 ・ 記録の種類や方法について理解する。 ・ 介護内容の振り返りと、見直しの技術を身につける。 ・ チームのコミュニケーションとして記録による情報の共有化の重要性を理解する。 ・ 介護従事者として、自身の能力の向上と成長させる方法としてのスーパービジョンを理解する。